

# 森の風



帯広市立森の里小学校  
学校だより

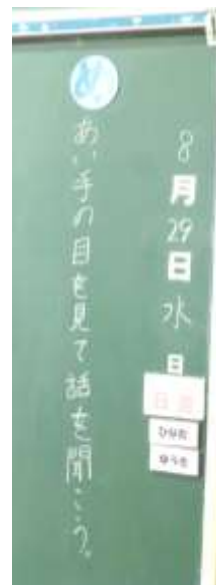
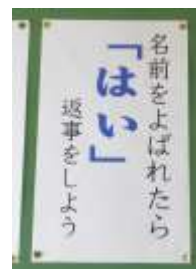
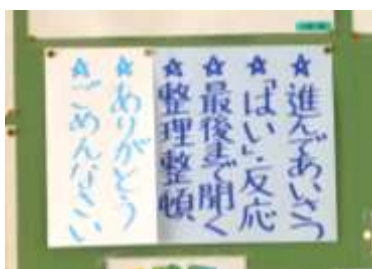
平成30年8月30日  
第15号

～学校と家庭と地域を結ぶ通信～

## 『共通実行』で順調に進んでいます

2学期が始まって2週間が経ちます。子ども達はすっかり学校のペースを取り戻したようです。

さて、学校では、1学期に引き続き、森の里小学校の子ども達につけたい力を、どの先生も継続して指導しています。一日の目当てにしたり教室に掲示したりして意識づけを工夫しています。できて当たり前のことのようですが、どの子もできるようにするには、粘り強い指導が必要です。ご家庭でも同じ視点に立って躰をしていただくと、さらに効果が上がると思いますので、お願いいたします。



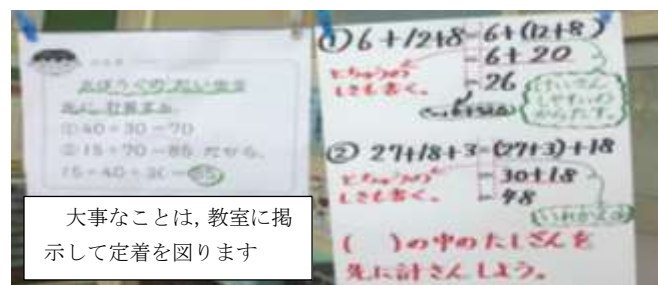
- ☆ 進んで明るいあいさつ
- ☆ 名前を呼ばれたら「はい」と反応
- ☆ 話を聞くときは相手を見て最後まで
- ☆ 整理整頓・後片づけ



森の子学級、一日のスタートは体力づくりから



1年生のアサガオの花はいくつ咲いているかな？



大事なことは、教室に掲示して定着を図ります



図書ボランティアによるブックカバーかけ作業



PTA 学年学級部のベルマーク集計作業

保護者・地域の皆様のご協力に感謝です。ありがとうございます。

# 自由参観日で学校の様子をご覧いただきました

今週2日間にわたり行われた自由参観日には、保護者の他、祖父母の皆さんも参観していただき、普段の学校の様子や子ども達の活動の様子をご覧いただきました。

今年の特徴としては、今年度から教科化となった「特別の教科 道徳」を全学級で行ったことです。道徳の授業は子ども達に価値を押しつけるものではありません。答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の子どもが自分自身の問題として捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」が大事になります。そのような道徳の授業になるよう、先生方はこれからも研修に努めていきます。

<主な感想>

- ・ゆっくり見ることができてよかった。
- ・いつでも行けるのはよいと思う。
- ・先生が、子ども達に考えさせる質問をしたり、考える時間をとって自分たちの力で答えを出させようとしているところが印象的で、とてもよい授業だなと思った。
- ・先生によっては黒板の書き方が違うと思った。
- ・夏休みの作品展が同時でとてもよかった。各学年、とても力作だった。
- ・道徳の授業で、家族のあり方について考えることは大変よいことだと思う。
- ・ゴミ分別の授業は、今後、子どもも意識してくれそう。とてもよい学習になったと思う。
- ・授業中、無駄なおしゃべりがなく黙々と課題に向かうなど、とても落ち着いていた。さすが高学年の授業風景だと感じた。低学年の頃のように、もう少したくさんの子が手を挙げる場面が見られたらなおよかったと思う。

※その他、多数のご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。



映像から今日の課題を捉える6年生の道徳



森の子学級で育てた枝豆を使って「ずんだ餅」作り



出前講座でゴミ収集車の仕組み等を学ぶ4年生



ノート交流の掲示板も見ていただきました



子ども達の力作が並んだ夏休み作品展